

第3号議案 令和2年度事業活動計画（案）に関する件

令和2年度事業活動計画（案）

1 基本方針

- 法人の経営基盤安定と体制づくりに注力する一年とする
- 障害福祉サービスは、新型コロナウイルス感染拡大防止の緊急事態宣言のもとでも支援の提供の継続性が求められている。時差出勤や作業の分散、住居内の工夫で感染対策を徹底し事業の継続を図る。
- 新型コロナウイルス感染症流行によりイベント開催だけでなく人が集まることの感染予防を考慮し、今年度大規模イベント開催は見送る。日常業務でも感染者が出ないよう予防に努める
- 職員・会員などと積極的に意見交換をし、より風通しの良い法人を構築する
- 会員数、寄付者数の目標値達成のため、具体的な戦略を練り実行する。

2 事業

- (1) 障がい者就労支援事業所ワークショップようてい の運営 【個別事業計画1】参照
- (2) グループホームよろこび の運営 【個別事業計画2】参照
- (3) K.S.C Juntos の運営 【個別事業計画3】参照

3 活動

(1) 精神疾患や障害に関する理解と交流、広報活動

<講演会・研修会・交流活動>

- みんなで学ぼうシリーズ…毎月第2水曜日の開催固定化
今年度も俱知安厚生病院への協力依頼をおこない、協力開催とする
- 地域の支援者のスキルアップ企画として「たね塾」を開講する
月1回（5月～11月）、全7回の予定
- 地域の支援者向けのWRAP「くらっぷ」を開催する…偶数月第4水曜日

<広報活動>

- 通信ともへの発行
障がい者情報の発信と法人活動の現状を伝えるため、年10回以上発行する
- インターネット媒体の充実
ブログ等の更新を継続するとともに、SNSの活用充実を検討する
- 他団体活動への参加を継続する

(2) 地域内外の福祉関係団体と連携する活動

- 羊蹄山ろく地域自立支援協議会 定例会に出席
 - ・ 相談支援事業担当者会議
 - ・ 地域活動支援センター夢の匠サポート部会
 - ・ 就労支援部会
 - ・ 知ってる会？
- 羊蹄山麓障害支援区分認定審査会（推薦）隔月

- 後志圏域地域生活移行支援協議会（委嘱）
- 「倶知安町福祉フォーラム」参加
- 後志圏域障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会（委嘱）
- 後志保健医療福祉圏域連携推進会議（委嘱）
- 倶知安町障害者施策推進協議会（推薦）
- 一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会 理事
- 一般社団法人 北海道中小企業家同友会 しりべし・小樽支部 会員

(3) 講師派遣活動

- 法人理念に照らし検討の上積極的に協力する

(4) 組織の運営安定化、拡充活動

- 会員・寄付者を増員させるため、人的、経済的協力を広く集めるための活動をする
- 正会員 25 人、賛助会員は 10 団体、個人 100 人を旨す
- 寄付金の目標人数を 30 人以上、金額を 150 万円以上とする

(5) 助成金活用

- 助成事業の情報収集を継続し、身の丈に合った活用に努める。

(6) 認定NPO法人活動

- 寄付額に目標を定め、税金還付の利点を活かして寄付金獲得に努める

(7) 「わっくわく」地域開放の取組み

- ハード面の地域開放に加え、ボランティア受け入れなどソフト面での地域開放を目指す
- 来年度以降の実行に向け、検討を重ね整備をすすめる

(8) 借入金返済について

- 法人の黒字化をめざし計画どおりの返済を行う

(9) 職員の働く意欲向上について

- キャリアパス制度の研修制度および評価制度を再構築し、制度の充実を図る
- 福利厚生を予算化し、働く環境の整備をめざす
- 職員が「自分もここを利用したい」と思えるような各事業をすすめる

(10) 防災対策について

- 新型コロナウイルス感染症も一種の「災害」ととらえ、予防対策を徹底する
- 火災訓練を年 1 回実施するのに加え、各事業所で防災教育をおこなう
- 地震、洪水を想定した防災訓練を年 1 回以上事業所ごとに実施する

【個別事業計画 1】

令和2年度

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい（WS） 事業活動計画（案）

1 基本方針

- 事業所の体力に合った事業計画にのっとり、充実した支援を図る
- 各職員の役割を明確にし、責任とやりがいを持つことができる事業所を目指す

2 就労移行支援のサービス提供について

- 積極的な一般就労を目指す支援をおこない、今年度も就職へ向けた支援をおこなう
- 実践的なトレーニングプログラムを継続する
履歴書添削、ハローワーク同行、トレーニングプログラム研修の実施ほか

3 就労継続支援B型のサービス提供について

- 他機関に働きかけ、新規継続支援B型利用者の増加を図る
- 利用者の目標工賃平均月額 1 万円以上、時給額 300 円以上を維持する

4 事業運営の安定化について

- 利用者数の維持および利用日数の増加をめざす
- 事務局と連携し、事業の広報活動をすすめる

5 非常災害・防災対策について

- コロナウイルス感染症もひとつの「災害」としてとらえ、ふだんからの対策とともに、感染者が出た際の対応についてマニュアル化する
- 地震および洪水を想定した防災訓練、住居ごとの火災訓練を各 1 回ずつ実施する
- 防災設備の操作を周知徹底する

6 職員の資質向上について

- 年間計画に沿って研修をおこない、支援技術の研鑽につとめる

7 その他

- 就労定着支援事業化のための具体的計画を立てる

【個別事業計画 2】

令和2年度 グループホームよろこび（GH） 事業活動計画（案）

1 基本方針

- 当事業所の理念のもと、入居者の自立支援を継続する
- 職員体制を見直し、各職員の役割を明確にして責任とやりがいを持てる運営をすすめる

2 サービスの提供について

- 職員による定期的な支援会議の定着をめざす
- 事業所外との情報共有をより密にし、一体となった支援活動をおこなう

3 事業運営の安定化について

- 法人事務局と連携し、人事・広報・会計における体制づくりをすすめる
- 地域の実情を考慮し、新居開拓は次年度以降に検討する

4 非常災害・防災対策について

- コロナウイルス感染症もひとつの「災害」としてとらえ、いざからの対策とともに、感染者が出た際の対応についてマニュアル化する
- 地震および洪水を想定した防災訓練、住居ごとの火災訓練を各1回ずつ実施する
- 防災設備の操作を周知徹底する

5 職員の資質向上について

- 積極的に所内研修を実施することで支援力向上をめざす
- 外部事業所の見学研修を検討する

6 入居者利用料の収支報告および清算について

- 返済方法については個別に承諾を得て実施する
- 新たに「家電製品更新・修繕積立金」を設け、入居者に同意を得る

【個別事業計画 3】

令和2年度 K.S.C. Juntos 事業活動計画（案）

1 基本方針

- 登録選手がスポーツを通じて自分の生活を充実できることを目指す
- サポートスタッフの役割を明確にし、活動が持続できるような体制づくりをすすめる
- フットサルはじめスポーツをすることの楽しさ、やりがいを伝える

2 今年度の活動目標について

- コロナウイルス感染症の影響で大会および練習ができない状態であるが、その中でも一人でできる自主練習を各選手ができるよう個別対応をする
- 選手、サポートスタッフの増員するための活動をすすめる

3 活動計画（感染症の状況により延期、中止の場合あり）

日付	名称・内容	開催地（予定）
毎週火・金	定期練習（不定期で練習試合実施）	旧東陵中学校体育館
6月下旬	北海道チャンピオンズカップ	札幌市東区体育館
8月29日	名寄市チーム結成10周年記念大会（仮称）	名寄市
9月ごろ	第5回ソーシャルフットボールともにカップ	京極町体育館
12月下旬	ソーシャルフットボールサポーターズカップ	札幌市東区体育館

※その他遠征、練習試合など